

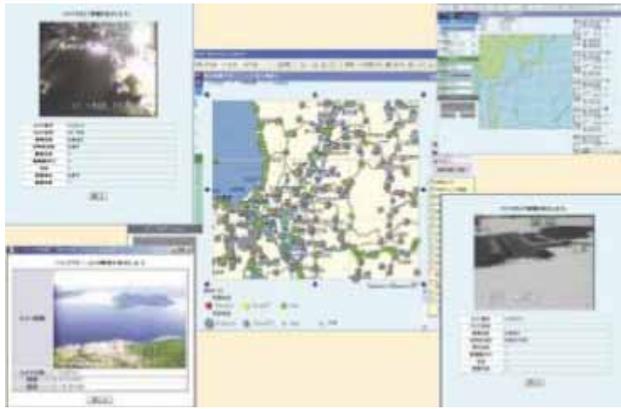
テーマ4 地域との協働による危機管理体制づくり

地域の防災意識の向上

～ 他機関と連携し防災情報図を作成し、情報連絡、情報共有を行う～

【背景】 道路防災を推進するため、地域の防災情報を提供し支援を図る
【ねらい】 地域の防災能力の向上(的確な災害情報の入手と防災対応)

実施状況



これまでの取組みと成果

・H16年度:
上川北部・中部で国道情報連絡所開設
地域防災情報図の地図面の作成
地域防災情報共有WANシステムの運用開始
・H17年度: 上川南部で国道情報連絡所開設(全40箇所)、防災資機材保有情報の共有化
冬道安心パンフレットの作成

展開イメージ

国道情報連絡所の管内全域への設置拡大をとおして、地域への道路防災情報の提供を図り、地域防災を支援する。

地域防災情報図の作成・配布をとおして地域防災情報を提供し地域防災を支援する。

地域防災情報共有WANシステムの管内における利用拡大を推進し、地域防災情報の共有化と相互の連携強化を図る。

地域コミュニティFM局と「災害緊急事態等における非常放送に関する協定」を締結し、地域防災情報の提供を推進する。

テーマ4 地域との協働による危機管理体制づくり 地域防災教育支援

～ 地域防災啓発活動の実施により防災に対する意識向上を図る～

【背景】 近年、台風や地震災害が多発している

【ねらい】 いざという時に、自ら身を守る最低限の知識を身につけてもらう

実施状況



これまでの取組みと成果

- ・平成16年度： 冬期防災講習会を開催 (H16.12.22)
暴風雪と大雪の発生メカニズム
(講師: 旭川地方气象台、技術課長)
雪害の発生条件と防災対策
(講師: 日本気象協会北海道支社)
- ・平成17年度： 地域防災講演会を開催 (H17.9.2)
近年の自然災害を踏まえた防災対策のあり方について
(講師: 室蘭工業大学教授)

展開イメージ

土木学会が作成した「必須!!防災知識: DVD」を利用して、地域の人々が災害に対して安全に対応できるよう支援する。

道路防災期間中に開催する「災害対策用機械見学会」で、「必須!!防災知識: DVD」の上映会を開催する。

「必須!!防災知識: DVD」を教育関係者・防災関係機関・NPO・一般家庭へ貸出し、地域住民の防災知識の普及を支援する。

道路防災連絡協議会において、防災知識の向上に活用する。

テーマ4 地域との協働による危機管理体制づくり コミュニティFMを通じた防災情報の提供

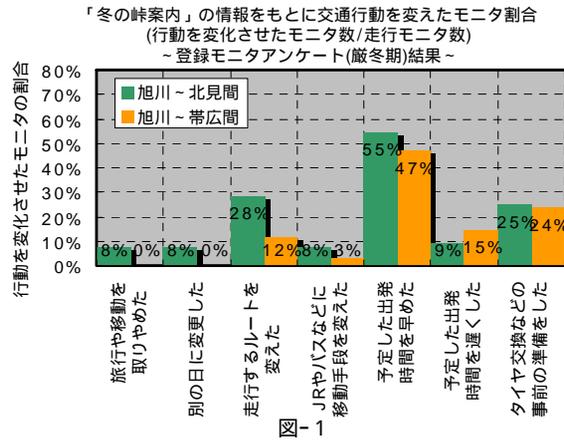
～リアルタイムな防災情報提供により、住民・道路利用者を支援～

【背景】 災害等緊急時において、幅広く迅速な情報提供のニーズあり
【ねらい】 地域住民、道路利用者へ防災情報を的確に提供

実施状況



コミュニティFMでの情報提供

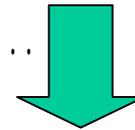


展開イメージ

継続した情報提供の一環として、開発局で実施する様々なイベント等をコミュニティFMと連携し発信していく。

FMリバー (83.7MHz)、ラジオふらの(77.1MHz)、Airてっし(78.8MHz)との協働で情報発信。

これにより…



地域住民および道路利用者へ幅広く道路情報を提供することで、災害時等における適切な対応を支援する。

地域住民および道路利用者へ迅速に道路情報を提供することにより、安全な通行を促進する。

これまでの取り組みと成

道路情報提供の締結を取り交した。

平成17年6月24日：「株式会社ラジオふらの」

平成17年6月24日：「株式会社旭川シティネットワーク」

・実施時期：平成17年6月24日から

平成18年3月31日まで

・情報提供内容代表例：冬の峠案内

道路気象情報提供サイトである「冬の峠案内」の情報を番組内で放送した。

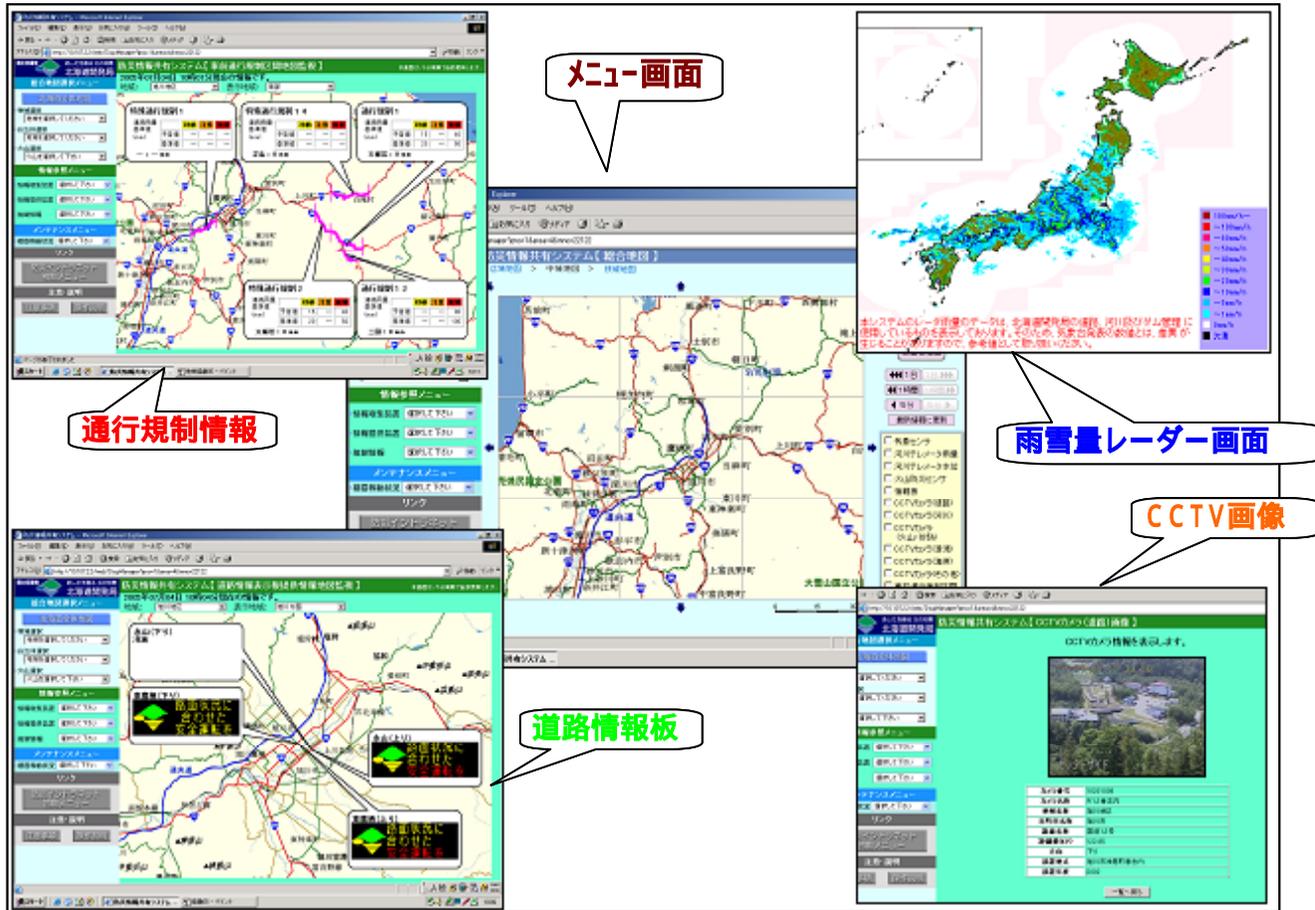


道路利用者の行動変化を促した(図-1)

テーマ4 地域との協働による危機管理体制づくり 防災情報の共有化

【背景】頻発する自然災害で防災関係機関の情報共有が課題

【ねらい】防災関係機関の情報を共有化し、リアルタイムで提供することにより、自治体の迅速かつ的確な防災対応を支援



展開イメージ

防災対策の効率化・高度化を実現し、上川地域全体の防災体制の強化を図るため

平成18年度は

- ・ 上川管内の水防連絡協議会や道路・火山防災協議会等を活用し、情報を共有する防災機関や自治体の拡充を図ります。
- ・ 共有する防災情報の内容の充実を図ります。

これまでの取り組み

平成15年秋 河川・道路情報等の共有化に関して、各機関相互で検討開始
 H17.3.22 防災情報の共有に係る協定を旭川地方气象台、北海道上川支庁、名寄市と締結
 旭川地方气象台、名寄市と光ケーブルを接続し、運用開始した
 平成17年度末で3町村(上川町、美瑛町、音威子府村)へ接続された(端末パソコン未調達)

テーマ4 地域との協働による危機管理体制づくり

石狩川水防公開演習

【背景】国や地方自治体、各防災機関などが協働で毎年全国各地で実施。平成16年度には天塩川流域を対象に名寄市にて実施。

【ねらい】出水に備え、水防機関の密接な連携と水防技術の向上、並びに水防意識の高揚をはかるとともに、水防に対する地域住民の理解と協力を求める。

平成16年度天塩川水防公開演習の様子



これまでの経緯

- ・平成18年1月 第1回演習本部連絡会議開催
- ・平成18年3月 第1回実技指導者会議開催
- ・平成18年4月 第2回演習本部連絡会議開催

展開イメージ

旭川市ほか流域市町村、各水防団、北海道北海道開発局、陸上自衛隊、北海道警察を始め、地元NPO法人、教育機関、民間企業が連携した水防演習を行います。

地元小学生に演習の記者として参加してもらい、水防への関心を高めてもらいます。

既設の防災施設(消火用水取水護岸)などを利用した実践的な演習を行います。

民間企業などにも地域水防隊として参加してもらい、実際に水防活動を体験してもらうことで水防への意識向上を図ります。

実施時期:平成18年6月17日

実施主体:旭川市ほか石狩川上流域市町村
北海道、北海道開発局

実施場所:旭川市永山町流通団地地先
(石狩川秋月橋上流左岸地先)

テーマ4 地域との協働による危機管理体制づくり

地域が主役の危機管理・天塩川を軸とした活力ある地域の再構築

【背景】 天塩川流域では、上流域6市町村すべてハザードマップを公表済み。
天塩川は長大河川であり、水防活動において地域との協働が不可欠。

【ねらい】 日本列島を襲う異常気象やそれに伴う豪雨、地震等の災害に対して、被害を最小限に抑えるため、防災情報伝達の充実、防災意識の高揚を図る。



音威子府村洪水ハザードマップ



H13洪水
地域による内水排除作業



天塩川一斉水防訓練

展開イメージ

流域市町村、NPO法人リバーネット21等と協働して展開する。

天塩川上流6市町村の洪水ハザードマップが完成したことを機に、防災対策として効果的にハザードマップが利用されるよう流域市町村で一斉に水防訓練を行い、流域の危機管理協働体制の充実を図ります。

河川管理者、流域自治体、地域住民との災害情報の共有化が重要であるため、水防研修会を開催し、災害発生時の対応法や情報共有の強化を図ります。

これまでの経緯

- ・平成15年10月 天塩川上流6市町村ハザードマップ公表
- ・平成17年1月 水防連絡協議会名寄地方部会開催
- ・平成17年5月 水防法改正
- ・平成17年5月 天塩川一斉水防訓練の実施
- ・平成17年11月 天塩川水防研修会の実施